

## (1)の正答例

5月に売れたアイスクリームの個数は1600個です。

1600個を100%とみたとき、%にあたる個数が

チョコミントアイスクリームの個数になります。

%を小数で表すとになります。

$$\text{1600} \times \text{0.25} = \text{400}$$

となり、5月に売れたチョコミントアイスクリームの個数は

個になります。

計算の際には、百分率で表した割合を小数で表して使います。



## (2)の正答例

式

$$2500 \times 0.32 = 800$$

$$280 \times 800 = 224000$$

答え ( 224000 円 )

売上金額を求めるには…

- ① 8月に売れたジャンピングシャワーの個数を求める。
- ② ジャンピングシャワー1個あたりのねだんと、求めた個数をかける。

「アイスクリームの売り上げ個数の変化」のグラフから、8月のアイスクリームの売り上げ個数は2500個です。

「8月の売り上げ個数ベスト5の割合」のグラフから、ジャンピングシャワーは売り上げ個数全体の32%です。

2500個を100%とみたとき、そのうちの32%がジャンピングシャワーなので、

$$2500(\text{個}) \times 0.32 = 800(\text{個})$$

となり、ジャンピングシャワーは800個売れたことになります。

ジャンピングシャワーは1個280円なので、

$$280(\text{円}) \times 800(\text{個}) = 224000(\text{円})$$

となり、売上金額は224000になります。



(3)の正答例

(正しくない)

(わけ)

5月と8月のアイスクリームの売り上げ個数と割合から、  
バラエティーパックの個数を求めて売上金額を比べる。

5月に売れたバラエティーパックの個数は、

$$1600 \times 0.1 = 160$$

となり、160個売れたことになる。

8月に売れたバラエティーパックの個数は、

$$2500 \times 0.08 = 200$$

となり、200個売れたことになる。

バラエティーパックのねだんは変わらないので、個数の  
多い8月の売上金額の方が多くなる。

だから、わたるさんが言ったことは正しくない。

**解答のポイント！**

- 5月と8月のバラエティーパックの個数を求めること
- もとにする量×割合＝比べられる量で式を立てること
- 個数の多い方の売上金額が多くなること

(正しくない)

(わけ)

割合とは、比べられる量がもとにする量のどれだけに  
あたるかを表した数である。

5月と8月の円グラフに表された割合は、もとにする量と  
なるアイスクリームの売り上げ個数がちがう。

もとにする量がちがうので、グラフに表された割合だけで  
売上金額を比べることはできない。

だから、わたるさんが言ったことは正しくない。

**解答のポイント！**

- 割合とは何かを書くこと
- 5月と8月の円グラフに表された割合は、もとにする量がちがっていること
- もとにする量がちがう場合、割合どうしでは比べられないこと